

まちなかのビルを活用した住まいの可能性

～まちなかでの「住まい方」を考えるシンポジウム～

沼津市は古くから様々な機能が集積した静岡県東部の拠点として発展し、沼津駅周辺のまちなかは、多くのビルが立ち並ぶ住商混在の地域が形成されました。しかし、自動車社会の発達とともに都市機能の郊外化が進むにつれて、いつからか、まちなかに住まうということからも離れていきました。

遊休不動産を活用してまちを再生するリノベーションまちづくりの手法を用いることで、まちなかのビルを活用した新たな住まいを創出した実践者の話を通じ、沼津のまちなかにおける、これからの「住まい方」を考えていきましょう。

講師 (株)まちの灯台阿久根 代表 石川 秀和 氏

京都の家具製作工房や不動産会社を経て、2007年に建築デザイン事務所[sahou design]、2008年に(株)HLCを設立し、数々のリノベーション事業を実施。2015年に京都から鹿児島県阿久根市へ地域協力隊として移住し、「イワシビル」などの地域資源を活用した事業を企画。協力隊退任後、観光連盟事務局長に就任し、2019年4月に同観光連盟を民営化して現在に至る。

トークセッションでは、沼津市リノベーションまちづくりアドバイザーの都市計画家 (株)サルトコラボレイティブ 代表取締役 加藤寛之 氏にもご登壇いただき、お2人に沼津のまちなかの未来を語っていただきます。



大学在学中より sarto. を立ち上げ、まちづくり系シンクタンク COM 計画研究所にて景観形成・中心市街地活性化に関する業務に携わる。卒業後、イタリアに6ヶ月間の旅へ。大小20以上の都市を巡り、ローマに住む。2008年に sarto. を法人化し、(株)サルトコラボレイティブを設立。現在は、多くの都市の地域再生業務に従事しており、昨年度より沼津市のアドバイザーとして従事している。

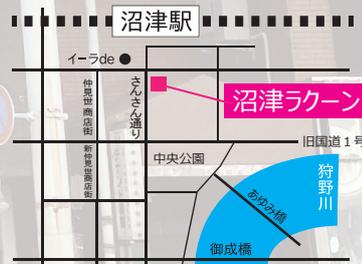


日時

令和3年3月11日(木)
午後6時～午後8時
(開場は午後5時30分になります)

会場

沼津ラクーン6階フロア
定員50名【先着順】
〒410-0801 沼津市大手町三丁目4-1
※公共交通機関が近隣の有料駐車場をご利用ください。



プログラム

1. 開会
2. 沼津市の現状等について
～沼津市まちづくり政策課～
3. 講演
～(株)まちの灯台阿久根 代表 石川氏～
4. トークセッション
～石川氏 & 加藤氏～
5. 閉会

Zoomによるオンライン配信あり

※申込フォームの参加方法の「オンライン」を選択してください。
インターネット環境により、回線が途切れる等の不具合の可能性があることをご了承ください。

申し込み方法

- ・参加費は会場・オンラインともに無料です。
- ・右記のQRコードを読み取り、申し込みフォームに必要な事項を記入の上、開催前日までに送信してください。
- ・インターネット接続によるお申込みが難しい場合は、直接、下記の間合せ先までご連絡ください。
- ※オンライン参加をお申込みの方には、開催前日までに視聴方法やURL等をメールにてお知らせします。



主催 沼津市都市計画部まちづくり政策課
共催 沼津市リノベーションまちづくり実行協議会
問合せ先 TEL: 055-934-4767 E-mail: ppp@city.numazu.lg.jp

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催方法をオンラインのみに変更する場合がありますのでご了承ください。
※会場にお越しになる方は、外出される前に体調を確認し、マスクを着用して来場くださるようお願いいたします。